

別記様式1

会 議 概 要 書

審議会等の名称	令和4年度 第2回 磐田市の国民健康保険事業の運営に関する協議会
担当部課名	健康福祉部 国保年金課（内線 2151）
会議の開催日時	令和4年11月17日（木）午後3時00分から午後4時30分まで
会議の開催場所	磐田市役所西庁舎3階 304・305会議室
出席者	磐田市国民健康保険運営協議会委員 14人 （公益代表4人、被保険者代表5人、保険医・薬剤師代表3人、被用者保険等保険者代表2人） 事務局職員 6人 （健康福祉部長、国保年金課4人、健康増進課2人）
議題	議事 ・令和4年度国保税課税状況（報告） ・令和3年度国保特別会計決算（案）について（報告） ・令和4年度保険者努力支援制度結果共有 ・その他情報共有
配付資料等の件名	・議事資料
備考	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、希望する委員についてはWEB会議による参加を許可し、磐田市の国民健康保険事業の運営に関する協議会規則第6条の協議会に係る定足数の出席数とみなし開催した。

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
事務局	○互 選 <u>改選後初めての対面での会議であり、事務局であらかじめ会長、会長代理の人選について公益代表の委員の方に対して事前に打診をし、事務局案として提案した。全委員の「異議無し」にて、会長に山田悟史委員、会長代理に村越怜子委員が選出された。</u>
会長	○議 事 <u>委員17名中14名の出席（WEB会議出席者3名含み、委員の半数以上の出席）のため、協議会規則第6条により会議は成立していることを報告した。</u>

事務局	<p><u>事務局（国保年金課）が議事資料について説明し、磐田市国民健康保険事業について質疑応答の時間を設けた。</u></p>
委員	<p>以下2点について説明をお願いします。</p> <p>1つ目、前年度の協議会で7億円の歳入不足があるということで、令和10年までに4回（令和4年、6年、8年、10年）に分けて、平均5,000円で、初回は4,800円ぐらい上げましょうということでしたが、コロナ禍なので30%緩和しましょうとなったと思います。資料9頁で説明していただきましたが、1人当たりの平均が2,397円、3,500円が2,397円になった要因としては何でしょうか。</p> <p>2つ目、資料10頁で1人当たりのマイナスがまだ1万8,000円あり、令和10年まで4回でそのうちの1回税率改定をやったものですから残り3回割ると、1回当たり6,000円上げなきゃいけないというふうに単純ですけどなります。</p>
事務局	<p>まず資料9頁ですが、本算定時の課税状況1人当たりの平均税額ということで、比較をさせていただいて2,397円となっております。仕組みが複雑でして、3,500円上げようと言っているのが、実際の本算定時の課税状況ではなく、資料10頁の算出（令和4年9月30日時点）と同じですが、算出時点を基準としたシミュレーションによる算定のため、算出方法が異なります。10頁の算出方法をとりますと、3年度の保険税率と4年度の保険税率を比べた場合、1人当たり約3,200円の増額となっております。</p> <p>2つ目ですが、青野委員がおっしゃるとおりです。課題のところにも書いてありますが、標準保険料率が毎年変化しており、3年度から4年度で税率も上がっているため、令和4年</p>

	<p>度のベースで比較すると、約1万8,300円の差があり、今後残りの3回で解消しようとする、1回当たり約6,000円位は上げないといけないという計算になります。ですので、そこを来年度以降に令和6年度の税率改定に向けて、協議会の中で、皆さんに検討していただくという形になります。</p>
<p>委員</p>	<p>前年度の案として、3回で上げる案もありましたが、そのときには、かなりの金額になるので、4回にしましょうとなりました。6,000円になると、当時の3回でやったときの案と同じぐらいになってしまうのではというふうに思えてきて、今後負担がすごくなるなという感想です。</p> <p>いずれにしても、令和10年に、県の方針としてやらないといけないということであれば、この6,000円というのが、目標値になってくるのかなという感想です。</p>
<p>委員</p>	<p>私のほうからお願いごとですが、歳入面だけでなく歳出、要は医療費をどういうふうにしていこうかっていうのが、1つ問題になるかと思います。お医者様がこの中にありますが、お願いしたいのはレセプト開示という考え方です。どういう種類の病名にどれくらい医療費がかかっていて、月ごとや累計ではどうなっているか知りたいです。例えば、「血友病が1,000万円ぐらい月にかかっている、この半年間で約6,000万円だよ」というようなことを、被保険者共通の医療費が大きい順に知りたいです。個人名は出さなくとも、どういう病名で、どういうものが医療費は高いのかを知ることで、私たちの医療費に対する理解・材料にしたいというふうに思っています。これによって看護師・保健師にフォローしてもらってもいいと思います。こういった取り組みが医療費の改善にな</p>

	<p>ってくるのではないかと思います。</p> <p>1回だけでなく、1つのことに対して、複数取り組むことによって医療費・歳出を下げていくことにつながっていくのではないかと考えています。税金の負担を上げるなら、そういうことも力を入れて医療費を下げるという方向も1つの方針で入れてほしいなと思います。したがって、早めに大きな病名のベスト30でもいいので提示いただきたいと思っています。</p> <p>今、詳細までお答えできませんが、医療費から見ると、循環器系がトップになっていまして、主な疾病としては、「高血圧症」「心不全」「脳梗塞」が第1位です。第2位は、悪性新生物で「胃がん」「肺がん」「白血病」こういったものが、医療費として大きくかかっています。第3位としては、内分泌系で「糖尿病」「高脂血症」こういった病名が今医療費として高いものです。</p> <p>また、1人当たりで見えていきますと、1番医療費がかかっているのが「慢性腎不全」、次が「糖尿病」、3番目として「関節疾患」となっております。</p> <p>次回、詳しいところをお示しできればと考えております。</p>
事務局	<p>その回答で大丈夫です。円グラフとか活用して、皆さんが病気の概要を理解するといった表がほしい、歳出を見直すデータを共有してほしいということです。</p>
委員	<p>私から2点。1つは感想、もう1つは意見です。</p> <p>1つ目の感想は、今期に入って、資料が格段に分かりやすくなった、何が課題なのか、また、目指すところがすごく分かりやすくなったと思います。改めて事務局に御礼です。用</p>

	<p>語の説明が入り、ちょうど前期話題になったものがすごく取り入れられている気がします。ありがとうございます。</p> <p>2つ目の意見ですが、私とそれから、WEBで参加されている協会けんぽ（全国健康保険協会）の上田さん含めて被用者保険等保険者代表として協議会に入っています。国保とは全然違う制度からなぜ参加しているのかという意味合いをまたどこかで説明いただけるとありがたいです。もちろん国保の財政支援のために、負担をしているという側の立場でこれからも多分に意見を申し上げると思います。その一方で、協会けんぽにしても、企業の健保にしても、様々な保健事業の取組みをしていますので、本日話の挙げた医療費適正化や健康づくりなどそういったところで意見交換やアイデア共有ができるかもしれませんし、是非一緒に取り組んでいけたらなという意見です。</p>
<p>委員</p>	<p>保険者努力支援制度ですが、磐田市は西部地域で4番目だということなのですが、例えば、1位から4位で、金額的にどのように違うのか、順位やポイントの合計点数で金額が違うのか教えて頂きたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>質問の回答としては、順位ではなく点数によって金額が変わってくるものになります。17頁で言うと、合計点数が多くとれている市町順に交付金額がとれているということになります。国の算定方法が評価指標ごとの点数に被保険者数を掛けて算出した点数を基準として割合に応じて予算の範囲内で試算するため、1点いくらという提示は非常に難しく正確な見込みは出せないため、参考での金額ですが、単純に磐田市で考えると交付金額に点数で割ると1点あたり約12万円とな</p>

	<p>ります。</p>
<p>委 員</p>	<p>磐田市だけが、固有指標の6番が断トツで低いのですが、これは何か理由があるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>7頁になりますが、委員研修会の資料の表にも記載ありますが、赤字繰入れを行った市町ということで、磐田市が2021年度残りの1市町となります。赤字繰入れを行うことで点数がとれず減点となり、点数として大きく足を引っ張っているところでございます。</p>
<p>委 員</p>	<p>来年この固有指標6番の点数は変わるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>赤字繰入れのところについては、まだ見通しが立っていない状況です。それ以外の点数が取れていない項目のところ、見直しをしながら、新たな点数獲得に向けて取り組みをしているところです。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料分かりやすくしていただき、ありがとうございます。磐田市の抱えている課題というのが明確に見えたと思います。7頁のところで記載のあるとおり健全な国保運営のところで保険者努力支援制度にも影響を与えているということ、県内35市町ある中で2017年度に13市町あった赤字繰入も、2021年度には磐田市のみで収支のバランスがとれていないことが原因なのか、静岡県の足を引っ張っているように見えます。今の磐田市の国保税の率というのが県内でどれくらいの順位なのか知りたいです。また6年度にかなりの額を上げないと早期の改善を図れないと感じます。長期になればなるほ</p>

	<p>ど問題を先延ばししているようにも思えます。そして、課題を解決していくための協議をしていかないといけないと思います。まずは磐田市として課題を認識していただいているのは委員として嬉しいところです。また、同じ保険者の立場ということで協力できるところはさせていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>率の順位というのが賦課方式や歳出のところで市町によって必要な歳出が違うので比べる指標として、県が示している標準保険料率が市に対して必要な税率という認識でいます。乖離について言いますと、磐田市は県内35市町の中で令和4年度は下から3番目になります。ですので、今回令和4年度に税率改定したのですが、まだまだ上げていかないといけないというところです。先ほど、青野委員からもありましたが、現時点で1万8,000円という乖離がありますので、来年度以降はどのように上げていくかというところを皆さんに検討していただければと思っております。</p>
委員	<p>先ほど磯部委員から医療費について話がありましたけれども、医療者側としてですが、参考資料8頁の超高額医薬品については、実際の投薬としては「ハーボニー」くらいしか実際の効果を知らないです。どれももちろん使ったことはありません。恐らく、血液内科主体の専門家や肝臓外来が使うしかないお薬ばかりかと思います。表の上4つは発症がどれくらいあるのか私たちもよく分からないので、磐田市として次の年度の医療費の中にこれをどれくらい使うのかによってかなり医療費の総額は変わってくると思います。</p> <p>私が言いたいのは、医療費を抑えたいですが、根本的には、</p>

	<p>患者さんの希望と、医師の裁量というものがあまして、あとは裁判で訴えられたときに使ってないと困るというそういうガイドも働くので、一律に医療費を規制するのはなかなか難しいと思います。あとはレセプトでチェックをしていただいて、事務局から注意や勧告、医師会に質問するなどの形で、医療費の検討をしてもらえないのではと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>保険者努力支援制度について、平成30年度からということでしたが、この制度は時限が設定されているものなのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今現在、特に時限的な制度ではないです。ただ、毎年配点の部分など改正がされており、それに合わせて私どもとしては、なるべく点数がとれるように努力をしていくところになります。</p>
	<p><u>以上で意見質問がなかったため、審議を終了して閉会した。</u></p>